

WAKO CIRCLE

別冊4号

WAKO CIRCLE

別冊4号

2020/11/01

発行人 ● 半谷俊彦
発行所 ● 和光大学

東京都田舎井丘5-1-1

☎044-988-1433

<http://www.wako.ac.jp/index.html>



経済経営学部 経営学科4年 濱田 里穂さん

このコロナ禍で父が在宅ワークになった
のですが、正直に言うと一緒にいられる
時間が増えて嬉しく、毎日が楽しいです。
(本人には恥ずかしくて言えませんが)

和光大学への ご支援のお願い

学長 半谷 俊彦

平素より和光大学の教育研究にご理解ご協力を賜り、深く御礼を申し上げます。

本学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年春には修了証書交付を縮小し、入学登録を中止としました。また、何とか通常に近い形で授業を実施できないか模索しましたが、学生の皆さんの安全を第一に考え、前期授業をオンラインで実施することに決めました。学生・教職員が行き交い活気に溢れていたキャンパスは静まり返り、深い悲しみを覚えるとともに未曾有の事態であると痛感させられました。そして、この間、学生の皆さんにさまざまな苦勞を掛けたことを心苦しく思います。

今、学生・保証人の皆さまの中には大変困難な状況に置かれている方がいらっしゃると思います。学生から「アルバイトの収入が大幅に減少した」との声も聞かれています。こうした中で大学として必要な支援を検討し、「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学生への緊急経済支援(5万円)」「新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変に係る授業料一部免除制度(免除額10万円)」を創設しました。経済的な理由で学生の修学機会が失われることはあってはならないと考えています。今後も実情に沿って必要な措置を検討していく所存ですが、困窮学生への経済的支援やオンライン授業のための情報機器等環境整備、学生の心のケアなど多方面にわたる支援が欠かせないと考え、皆さまにもお力添えをお願いできないかと考えた次第です。特に在学生の先輩である卒業生の皆さまにおかれましては、大学と手を携えて学生たちを支えていただきたく格段のご協力をお願い申し上げます。誰もが危機的な状況にあり、厚かましいことは重々承知しておりますが、私どもの意をお汲みいただき、財政的なご支援をお寄せくださいますようお願い申し上げます。ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

免税措置が受けられます

2,000円以上の個人からの寄付は免税(所得控除が税額控除、どちらが有利なほう)を受けることができます。

例) 寄付金が100,000円、課税総所得金が500万円の場合 $(100,000 - 2,000) \times 0.4 (40\%) = 39,200$ ・・・還付金額

お問い合わせ 和光大学教育環境充実募金事務局(A棟3階・事業室)
http://www.wako.ac.jp/outline/contribution/education_environment.html

詳しくはこちらから
ご確認ください。



3. 今一番辛いことは？

- 山口** 現在、私の祖母が入院中なのですが、感染防止のためお見舞いができず、しばらく会えていないことです。
- 石田** 帰省できないこと。
- 薄井** 大学の友達と会えないこと。早く友達と休み時間に駄弁ったり、放課後に遊んだりしたいです。
- 濱田** 1番は友達に会えない事です。ビデオ通話で話すのも楽しいですが、やはり直接会う楽しさには敵わないですね。
- 牧田** 緊急事態宣言中もアルバイト先は営業していましたが、時間短縮営業だったため、収入が大幅に減ってしまったことです。
- 千田** 授業も就活も提出物もPCで、目と頭が痛くなります。
- 北澤** 外出できないことです。家にずっと籠っていると、やはり気が滅入ってしまいます。

4. 今一番不安なことは？

- 山口** 就職活動がまともにできないこと、また経済への影響により就職先が見つかるかが不安です。
- 石田** 大学卒業後、私はどのような仕事に就いているのかということ。
- 濱田** 就職活動です。日本だけでなく世界中で就職氷河期がしばらく続くと言われていたのでそこが少し心配です。
- 牧田** 保健体育科の教師を目指す学生がいるのに、前期のスポーツ系の授業がいくつか休講になってしまったこと。また、教育実習もできるか未確定なので、このままできずに社会に出るとなると、不安でいっぱいです。
- 千田** 就職活動です。一度も行ったことのない企業に入社を決めていいのだろうか、不安に思っ検索すると、色々な噂が目に入り、更に不安になり、会社の将来性について再度調べて考えたりと、不安は尽きないです。
- 北澤** 勉強です。色々なアドバイスをしてくださった先生に会えず、自分だけでやるのは不安になります。

5. 自粛生活にしていた暇潰しは？

- 山口** アニメやドラマの視聴や友人とオンラインゲーム
- 石田** ルービックキューブ、お絵描きロジック、読書
- 薄井** 絵を描いたり、講義で扱われる映像作品を観たり、本を読んだりしていました。自粛前は映像作品を観る時間がなかったの、いい機会になりました。
- 濱田** 私は普段から語学の勉強に時間を費やしているので、それでも時間が足りないくらいです…。
- 千田** ゲーム、業界研究、ITパスポート試験の勉強。プログラミングを無料で体験できるwebサイトは意外と楽しいです。
- 北澤** 友人との電話。友人も結構暇を持て余していたので、自粛後にやりたいことを話していました。

6. 自由に外に出られるようになったら、1番にやりたいことは？

- 山口** 友人や家族と直接会って話したり、飲みに行ったりなどこれまで当たり前だったことを気軽にしたいです。
- 石田** カラオケ
- 薄井** 友達やバイト先の先輩たちと思いきり遊びたいです。帰省もできなかったの、家族や地元の友達にも会いに行きたいですね。
- 濱田** この期間、様々な検定、試験も中止になっていたので、この自粛期間中の勉強の成果を確認する為に、早くTOEIC試験を受けたいです。
- 牧田** 友達と旅行。来年から周りも社会人になるので、予定が組みやすい今のうちに行きたいです。
- 千田** 旅行です。国内だとおおいです。温泉が有名な所に泊まりに行き、ご当地グルメをしっかりと食べて、たくさん歩き、朝市で新鮮な魚も食べたいです。自分が楽しんだ分だけ経済が回って一石二鳥です。
- 北澤** 旅行。友人と色々なところで遊びたいです。

7. 緊急事態宣言の前後で大きく変わったことは？

- 山口** 外になかなか出られなかったため、よく自炊をするようになりました。
- 石田** 人生観(自分と向き合う時間や本を読む時間が増えたため)
- 濱田** 以前と比べて情報に触れ合う時間が圧倒的に増えました。メディアの発する情報の信憑性について考え直すきっかけともなりました。
- 千田** 友達に会わなくなったことです。Zoomで話して、通話でゲームをして、新しい遊び方を覚ええました。そして家族との会話が増え、お互いのお勧めの本を貸し借りするようになりました。
- 北澤** アルバイト先が休業となり、自由時間が増えた反面、金銭的に足りなくなりました。しかし自宅勉強する機会も増えました。

学生の今を覗く

2020年4月7日、政府から「緊急事態宣言」が出されてからの
学生の変化や困惑等、インタビューしてみました。
※取材は2020年6月にメールにて行いました。

- 実家住み
- 一人暮らし



濱田 里穂さん
経済経営学部
経営学科
4年



薄井 詩乃さん
表現学部
総合文化学科
2年



北澤 利樹さん
現代人間学部
心理教育学科
子ども教育専修
初等教育課程 3年



牧田 大河さん
現代人間学部
身体環境共生学科
(人間科学科)
4年



石田 恵蓮さん
現代人間学部
現代社会学科
4年



千田 すみれさん
経済経営学部
経済学科
4年



山口 隆洋さん
大学院
社会文化論専攻
発達・教育臨床論コース
2年

1. オンライン授業について

- 石田** 授業での発表のとき、資料を印刷する必要がなく、画面上で共有できることは良いと思いました。先生に資料をメールで送信すると、先生がGoogle Classroomを使い、ゼミ生が共有できることもとても良かったです。文字で伝えるチャット機能があるため、比較的気軽に発言できたり(Zoom)、レジュメやコメントペーパーのオンライン化(和光ポータルやGoogle Classroomの活用)を今後に活かそうというのもメリットでした。インターネット接続は安定しているか、音声は乱れていないかなど授業内容以外の部分で不安があり、疲労しやすいのはデメリットでした。
- 濱田** 通学時間やその他準備する時間が省かれて、その分自分がしたい事に時間をかけられるのはとても大きな利点だと思います。
- 牧田** とても良いと思いました。しかし、自分の考えや思いは対面で伝える方が相手に伝わるので、話し合いはやはり対面が良いと感じました。
- 千田** オンラインで授業に参加したとき、私以外の学生がカーテン等で部屋が見えないようにして授業に集中できた。このような心づかいと工夫を真似したいと思いました。
- 北澤** 通学時間を別のことに充てられるので、時間の幅が広がりました。携帯があればどこでも資料が見られるので、この事態が終わったら通常の授業の補助教材として使うなど、色々授業のやり方が広がると思います。

2. 今困っていることは？

- 山口** バイト先が休業しているため、収入が殆どなくなりました。
- 石田** 通常通り大学の図書・情報館が利用できないこと。
- 薄井** アルバイト先は臨時休業をしていて、手当は出ますが、普段の3分の1の収入になって困っています。読書が好きなので、大学の図書・情報館に行けないのもすごく困ります。
- 濱田** 先の予定が立てられない事です。誰もこの状況がいつ収まるのか分からないし、私も卒業後に留学する予定でしたが未だビザの申請ができていない状態です。
- 牧田** コロナの影響でストレスの発散場所が開店しておらず、どうやってストレスを発散するべきなのかわかりませんでした。
- 千田** 緊急事態宣言中に、眼鏡を壊してしまっただけで、感染が怖く眼鏡店でコンタクトを外すために目に触れることに抵抗があり、眼鏡店に行くかどうかを悩んでいます。
- 北澤** 勉強の環境を作ることです。和光大学は静かで授業に集中しやすい環境でした。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学の対応

学生に対する経済的支援

オンライン授業の受講環境整備のための特別給付金の支給	全学部生・大学院生を対象に、オンライン授業の環境整備にかかる負担軽減のため、1名あたり5万円を支給しました。
芸術学科実験実習費の減免	表現学部芸術学科の前期実習科目について、対面による授業実施が困難である状況に鑑み、芸術学科のすべての学生を対象に、2020年度実験実習費を4割減免しました。
授業料免除	学費の支払いが困難になった学生に42万5000円分の授業料の免除を行いました。(受付期間も延長措置を行いました)
新型コロナウイルス感染症の影響に係る授業料一部免除	1名あたり10万円の免除を行いました。
学費延納措置	個々のご事情に応じ、可能な限り柔軟に対応しました。

他にもノートPCの貸出、
メディア室開放、生協にて
ノートPCの特売も行いました

キャリア支援

安心して就職に関する活動を行えるよう、オンラインや
対面での個別相談の受付をしております。詳細はこちら→



学生生活支援

学生相談センターでは電話相談を
受け付けております。詳細はこちら→



学修支援

授業は原則オンラインで行い、資料配信型、動画配信型、同時双方向型の3タイプを設け、授業の内容に合わせて使用しました。
(一部の授業は感染対策を万全にとって、対面で行っております。)

後期は、メディア室・メディアサロン・図書館の利用ができます。(事前予約が必要です。詳細は図書・情報館のページをご確認下さい。)

オンライン授業を導入しました

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、和光大学では授業開始を5月14日に延期した上で、2020年度の授業については大学構内の教室で実施する対面授業は行わず、インターネットを用いた授業(以下、「オンライン授業」)を実施することを決定いたしました。(本原稿作成時)

和光大学の学修支援システム(以下「和光ポータル」)を中心としたオンライン授業を行なっています。

オンライン授業は、次の3種類に分類され、このうちいずれか、または併用で実施されています。

オンライン授業の種類	特 徴	主なツール	メリット
資料配信型	PDFなどの資料を教材として学ぶ	和光ポータル	通信料の負担が少ない
動画配信型	授業動画を視聴して学ぶ	YouTube と和光ポータルを併用	動画は繰り返し視聴できるので、理解を深めることができる
同時双方向型	リアルタイム配信される画像・音声を視聴して学ぶ	Zoom と和光ポータルを併用	お互い自宅からグループワークやディスカッションが可能

また、授業によっては、上記以外のツールや他の手法を用いる場合もあります。その際には担当教員から①利用方法の周知、②履修者との確認、③他の手法を用いることで不利益を被る履修生がないことの確認、等の必要な措置をした上で実施となります。

感染症ストレスと「今」の過ごし方について

オンライン授業と自粛生活に取り組み、いつもと違う授業形態への挑戦で、難しかったこと・逆にやりやすくなったこと、それぞれあったのではないかと思います。また、予測のつかない状況が長く続くことで、私たちは様々な喪失を味わっています。直接人と会えないこと、楽しみにしていた活動が中止になること、自分や家庭の経済的な問題、進路や就職の予定変更、あるいは身近な人の感染やその疑いによる不安・差別を経験した人もいるかもしれません。

みなさんが体験している状況の中にも、それぞれ個別の体験や思いが隠れています。この困難の時期に自分自身をできるだけ健康に保つため、知っておくといふことをお知らせします。

コロナ禍を乗り越える

学生相談センターのカウンセラーである木内先生と村上先生に伺いました。



学生相談センター (G棟1F)
月～金曜日
※開室日時の詳細はHP参照
TEL: 044-949-0004 (直通)

今私たちのストレスになっていること

	予測・予想がつかないこと	行動の自粛や制限	繋がりへの欠如
それによっておこる心身の反応の例	・いつまでこれが続くのか見通しのなさ ・感染への不安 ・情報収集しすぎる ・気持ちの落ち込みや疲労感 ・時間感覚が薄れる、昼夜逆転など	・無力感 ・活力なく省エネモード ・怒りやイライラを感じやすい ・今まで受け流せたことが許せない ・衝動のコントロールが難しくなる など	・身近な人と直接会えない ・新しい関係をつくりづらい ・何をしても面倒 ・自分の調子がわからなくなる ・孤独感・孤立感、情緒不安定 など

このような状況でストレスを感じることは自然な反応です

今、心身に反応がでることは、どんな風に自分をメンテナンスしたらよいか教えてくれるサインでもあります。

では、具体的なストレス対処法にはどんなものがあるのでしょうか？

生活のリズムを維持し、予測できることをつくります

ストレスへの抵抗力を高めるために、睡眠・食事・適度な運動を続けて、健全な生活リズムを維持しましょう。いつもの習慣(歯磨き、ストレッチ、楽しみなテレビ番組の視聴など)を続けたり、やることをToDoリストで管理するなど、進捗がわかりやすい工夫もしてみましょう。予測できない状況の中でも見通しが立つことが増えると気分が安定し、時間の過ごし方にメリハリがつけます。

衝動をコントロールして、エネルギーを健康的に使います

行動や自由を制限されると、人は怒りや不安を感じやすくなります。そして、発散されずに閉じ込められたエネルギーは、無力感や理不尽さの裏返しとして、人への攻撃に変わりやすい側面があります。このような衝動をコントロールするためには、なにか健康的なことに力を使う必要があります。料理やDIY、やってみたかった趣味に手を付けるなどの楽しめる活動をする、また軽いウォーキングや掃除、バスタイムの充実などで体に意識を向けると、自分いつもより緊張したり、動かないことに麻痺して疲れていたり、あるいは興奮して動きすぎていることに気づくかもしれません。

正確な情報を適度に手に入れます

情報を得る時は、信頼できる情報源かどうか確認し、不正確な情報(デマ)に惑わされないように気を付けましょう。正しい知識を持つことで、ストレスが軽減されます。もしかしら、ウイルス関連のニュースに触れすぎて疲れを感じたり、過度に対応策をネット検索している自分に気づいている人もいます。そんなときは少し情報に触れる時間を制限して、頻度が適切になるよう自分のスケジュールを見直してみましょう。

安心・安全な方法を工夫して人と繋がります

今「社会的に距離をとる」ということは、周りの人が危険ということや、社会的に孤立するということではなく、「人との繋がりに気を配る」ということです。直接会うことはできなくても、オンラインで定期的に話したり、手紙を書いたり、電話したり、いろいろな方法を工夫して人との繋がりを持ちましょう。お互いが感じていることを話せる場があることは、元気を顔をみてほっとしたり「自分だけがこんな気持ちじゃないんだ」と知って、ストレスとの向き合い方を調整する機会になります。また、閉店や終電がない「オンライン飲み」などは、予め終了時間を決めるなどの区切りがあつたほうが、安心して話せる場合があります。自分の時間やプライバシーが守られるように、けじめをつけることも大切です。

アルコールや喫煙、カフェインの摂りすぎを控えます

不眠や不安に対処するために、アルコールや喫煙、カフェインを控えましょう。かえって眠りが浅くなったり、神経が休まず、夜になってもぐるぐる考えってしまう場合があります。夜は自分の内側に注意が向きやすいので、穏やかな曲を聴く、好きなアロマの香りをかぐなど、リラックスできる時間がとれるとよいでしょう。

遠慮なく相談してください

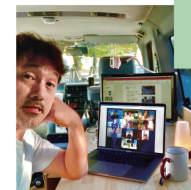
未曾有の危機の中で、私たちは自己を調整する方法、皆が共にある方法を学び、探しているところです。誰かと話したい、ストレスへの対処の仕方がわからない、最近心身の調子が変だ、これからどうしようか悩んでいる、そんな時は遠慮なく学生相談センターに連絡してください。待っています！

オンライン授業に挑む先生たちの苦勞

4人の先生方にオンライン授業のお話を伺ってきました！

01. オンライン授業にあたり、一番苦勞なされたのはどこですか？
02. 授業毎の準備は対面の授業と比べると何倍くらい大変ですか？

03. オンライン授業のメリットはありますか？
04. 学生さんに一言



伊藤 隆治先生
経済経営学部 経済学科

01 新しいアプリケーション(Zoom)を使うことに対して不安がありました。全学共通で使用する流れでしたので、学内での勉強会が開催されることを期待していましたが、残念ながら・・・なかった・・・。そこで不安が更に増しました(笑)。国内殆どの学校関係がオンラインによる対応となり、我々教員は不安になっていましたよね。SNSで情報を共有するなど多くの教員が丸となってオンラインに立ち向かっていきました。とは言え、それぞれの方向性が違うこともあり、僕自身は「とにかく自分でやってみるしかない!」と考えるようになりましたね。助かったことは、Zoomは使いやすいことでした。機能の範囲が広くない為、使用する側の可能性が広がることもよかったと思います。もし、Zoomが複雑なアプリケーションなら、ここまで使えなかったと思います。私は授業や会議など学内利用だけでなく、所属する学会の今年度大会もZoomで企画していますし、他にもZoom飲み会はもちろん、同窓会を実施して、遠くの同窓生と話すこともできました。伊藤家の法事もZoomでチャレンジしてみました。(笑)「自分なら何ができるか?」とワクワクしている自分に驚いています。授業運営としては、受講生は20人くらいがちょうど全体を見渡せると感じています。

02 3倍以上。対面もオンラインも授業で伝えることは変わらないと思います。例えば動画配信の場合、これまで授業で話していたことやレジュメを基に台本を作り、スライドやパワーポイントと重ね合せ、撮影、そして編集を経てアップロードする作業が新たに生まれました。準備作業の労力が圧倒的に増えたと思います。課題を提出する学生と同様に、教員にも提出された課題の確認・添削・返信などがあります。溜めると大変なので、提出されたものからすぐに確認するようにしています。学生とZoomで個人面談したら、課題が多くバイトができないという学生もいました。毎回の授業の課題と期末試験とのバランスを考えることも重要だと感じました。

03 学生にとっては通学時間が無くなることはメリットなのかもしれませんが、あえてデメリットをいうと、外に出ることができない自宅待機状態という縛りがあり、ネットを中心としたライフスタイルがあったからオンライン授業が受け入れられたと感じています。今後、ある程度自由に外出できるように縛りがなくなった時、大学とはオンラインだけの繋がりとなった場合、オンライン授業への参加は本人の学習の意思の強さが強くないと、脱落してしまうのではないかと心配しています。

04 早く会いたいですね。オンラインでできることも楽しいのだけれど、直接顔を合わせたい。そのために僕は「教員」をやっていますので。

中田 朝夫先生

現代人間学部 心理教育学科
子ども教育専修 初等教育課程



01 一番は、1年生は名前しか分からないことでした。オンライン授業では学生の様子から理解度や体調等を把握しつつ、進行することができないのも難しいです。教材を見るだけで完全に理解できる参考書のような完成度を目指し、丁寧に作りこみ、オンラインに適した題材も考えて、授業に取り入れるのも大変でした。

02 3~4倍

03 ①色々と心配な中、モニター越しではありますが、学生の元気

そうな姿が見られてほっとしましたし、学生同士もみんなの顔が見られて嬉しそうだったのが良かったです。

② 教職を目指す学生の模擬授業をZoomで工夫をしながら行ったのですが、その授業の感想を瞬時に他の学生からチャットで送って貰えたり、すぐにそのコメントを自分のものとして保存できたりすることです。

③ 逆境だからこそ生まれる学生同士や、学生と先生との団結感や連帯感もありました。(授業以外でもZoomで学生が集まって打ち合わせをしたり、難職がある学生や回線が落ちてしまった学生へのフォロー等を学生同士で行ったりしていました)

04 オンラインで得たものが自分の学修を磨ききっかけになってくれたら嬉しいです。気持ち次第で主体的に深く調べたり、情報を繋げていくことができたというメリットがあるのがオンライン授業だと思うので、是非活かして頂きたいです。

後藤 紀子先生

現代人間学部 心理教育学科
子ども教育専修 幼児教育課程(保育コース)



01 私は音楽担当なので、学生がLINEで送ってくる「演奏した動画」や「五線紙に書いた音符」を添削し、その都度どこが違うだろう直すかなど文字で書き、一人ずつ何回もやり取りしながら課題を確認する作業が思いのほか大変でした。対面授業であれば、その場で見本を示せば済むところが文字での指導は中々伝わらず、更に学生の都合の良い時間にリアルタイムで送られてくる課題にできるだけ早く返信せねばとスマホで対応、所構わず入ってくるLINEに24時間追われている感じでした。

02 比較できないぐらいオンラインは大変。一人ひとりのスキルが違うのでそれに対応したメッセージを伝えなければならぬ。でも、相手の状況が見えず、わかってもらえるための資料作りに必要以上に頭を悩ませていました。

03

①楽典(音楽の理論)は、今まで対面授業で行っていた時よりYouTubeで説明したほうが何度も繰り返し見ることができ、理解は深まったと思う。これらの資料は、今後の対面授業でも活かしていけるものだと思う。

②Zoomでの授業では、手遊びや学生たちの課題作品の発表も録画してその後からできるので、自分の作品の振り返りや他の人の作品を何度も繰り返し観ることができ、より学びが深まったように思う。

③「弾き歌い」や「制作して歌って演じる」などの課題を動画で受け取り、その動画で癒されたり、何度もやり取りすることで「ほめる言葉」や「励ます言葉」が増え、学生からも感謝の言葉が沢山聞けたことで絆が深まったと思う。

04

大学は、待っていても誰も何もしてくれません。どんどん教員に尋ねていって下さい。学生時代にしかできないこと、学生だからできる事がきっとあると思います。実は教員も皆さんが来るのを待っています。そして卒業してみると、そこでの体験が宝物になるのです。

すが、そのような状況が起こるのがオンラインです。

02

教材作成、環境設定などを含めると3倍以上は優にかかっています。授業の前日遅くまで準備をしているので、Zoom越しに疲れが見えないか心配です。

03

①テレワークを導入した企業の社員が認識しているのは、通勤にかかる時間・コスト・ストレスの緩和ですが、これは通学でも同じです。

②自宅学習の習慣がつくというメリットもあります。予習→受講→復習(課題への取り組み)という3段階の学習プロセスを、3段階のどのステップにも時間をかけてしっかり取り組めることで、学習効果が高まります。もちろん、予習と復習に取り組むことは対面授業でも必要なのですが、対面授業だと、授業に出ることで満足してしまい、前後の取り組みが疎かになる場合もあります。

③オンラインでいるんならトラブルが起きた時や、手順がわからず戸惑っている学生がいた時に、Zoomに詳しい学生がアドバイスし合う様子も見られたり、私自身も学生に助けられることも多くあります。和光大学は親切的な学生ばかりだなあ、と改めて感じ、新しいことを一緒に乗り越えていることで絆が深まっていると思います。

04

一人でもオンラインで授業を受けていると、孤独に感じることもあるかと思いますが、多くの仲間と一緒に学習しているということを忘れずに安心して取り組んでください。遠隔授業ではそれぞれ異なる場所で授業に参加するので、お互いを遠くに感じますが、Zoomでの授業の最初と最後のあいさつの時だけでも可能な方はカメラをオンにすることで「A picture is worth a thousand words(1枚の絵は1000語に匹敵する)」ということわざのように、相手との心の距離が縮まって、良い関係性が築けるようになりますよ。皆さんとリアルでお目にかかれるのを楽しみにしています。

永石 尚子先生

経済経営学部 経済学科



01 参加している学生の授業へのエンゲージメントを高めること。対面だと、講義しながら学生の反応を確認し、必要な対応をすることができるが、オンラインでは難しい。(対面だと質問が有りそうだとか、学生の様子を確認しながら授業を行える)オンライン環境では学生は自分が主体として授業に参加しているという感覚を持ちづらいのではないかと思います。教員と学生、また学生同士が双方向でやり取りできるような機会を積極的に作っていかないと、授業に対して受け身の姿勢が常態化し、毎回の授業を通した成長を自覚できなくなります。そこで私はなるべくインタラクティブな要素を取り入れるように心がけています。オンライン越しに質問を投げかけたり、名前を呼んで語りかけたり、意見を述べてもらったり、授業のテーマをグループでディスカッションする機会も作っています。オンライン上のグループ活動についても最初の頃は戸惑いも多くありました。一番最初にオンラインでグループディスカッションをした時、私も各グループの様子を確認しにルームに入ったのですが、その中の一つのグループは、全員が顔出しも会話もなく、5分以上沈黙でした。その間、ひたすら誰かが第一声を上げるのを待っていたようです。(もしかしら、機能をわかっていなくて、先生のファシリテーションがあるものと思い込んでいたのかもしれませんが。)教室で実施すれば、他のグループの様子も見られるし、教員も適宜アドバイスできるので5分間の沈黙はありえないので